

# 令和5年度第1回 岐阜県総合教育会議 次第

令和5年6月16日（金）

13:30～14:30

県庁20階 2004会議室

## [議題]

議題1：第3次岐阜県教育大綱（岐阜県の教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する大綱）の策定について

議題2：第4次岐阜県教育振興基本計画（岐阜県教育ビジョン）の策定について

## 第 3 次岐阜県教育大綱の策定について

### 1. 教育大綱とは

- 教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正 (H27.4 施行) により、新たに策定することとされたもの。
- 首長が教育委員会と協議した上で、教育の目標や振興等に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるもの。

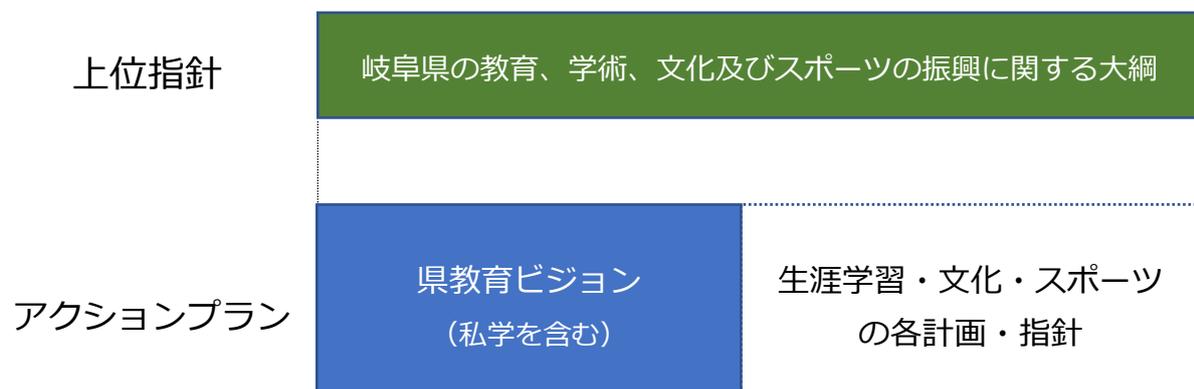
#### (地方教育行政の組織及び運営に関する法律)

第 1 条の 3 地方公共団体の長は、教育基本法第十七条第一項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとする。

- 本県の現行 (第 2 次) の教育大綱 (「岐阜県の教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する大綱」) は、本県の将来を担う子どもたちの教育をいかに進めていくか、また、本県の自然や文化等を活かし世界を見据えた人材をどう育成するかという大きな方向性を示すものとして、2018 (平成 31) 年 3 月に策定した。
- 本年度でこの教育大綱の期間が終了するため、第 3 次教育大綱の策定が必要。

### 2. 岐阜県教育大綱と岐阜県教育ビジョンの関係

- 教育ビジョンは教育基本法に基づき、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めたもの (現行ビジョンは H31.3 策定)。
- 教育大綱と教育ビジョンでそれぞれ、基本理念や方針を共有しつつ、教育大綱には理念等の大きな方向性のみを記載し、具体的取組みは教育ビジョンに盛り込んでいる。



### 3. 第2次岐阜県教育大綱（2019年度～2023年度）の基本理念と基本方針

○基本理念：世界的な視野をもち「清流の国ぎふ」の未来を担う人材の育成

○基本方針

1. ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成
2. 多様な学びを支援する教育体制の充実
3. 未来を切り拓くための基礎となる力をはぐくむ教育の推進
4. 学校・家庭・企業・地域の連携強化や多様な人材の活用
5. 質の高い教育環境づくり
6. 生涯学習、文化芸術の振興
7. スポーツの振興、健康・体力づくりの推進

→取組実績については、**資料1-2**を参照

### 4. 第3次岐阜県教育大綱策定の方向性（案）

- 教育大綱は将来の岐阜県を担う子どもたちの教育をいかに進めていくのかの根本となる方向性を定めたものであることから、基本的に現在の第2次教育大綱の方向性を継承する。
- このため、第3次教育大綱については、現行の教育大綱の基本理念や方針をもとに、今日の教育を取り巻く環境変化を踏まえた修正を加えて策定することとし、これまでの総合教育会議等での意見や次期（4次）教育ビジョンにおける課題の整理なども踏まえながら、総合教育会議において議論を行う。
- また、次期（4次）教育ビジョンについては、教育大綱と基本理念などの大きな方向性を共有しつつ、具体の実施計画も含めて教育大綱と歩調を合わせながら策定を進めるものとする。

→策定スケジュールについては、**資料1-3**を参照

→国及び本県の動きについては、**資料1-4**を参照

## 第2次岐阜県教育大綱の取組実績

資料1-2

※R3年度「清流の国ぎふ」創生総合戦略実施状況報告書（R4.6.14報告）による

基本方針	取組みの方向性	計画期間に実施した主な事業	成果（KPI※）						
1. ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成	(1) 「清流の国ぎふ」への誇りと愛着の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の自然・歴史・文化・産業等を体験して学ぶ活動や課題発見・解決型学習に取り組むふるさと教育を全ての県立高校で実施（教育総務課）</li> <li>・県内の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校及び特別支援学校における「清流の国ぎふ ふるさと魅力体験事業」の実施（教育総務課）</li> </ul>	<p>[KPI] 学校の特色に応じた課題解決型のふるさと教育に取り組む県立高等学校数（2023年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46校 (2018年度)</td> <td>63校 (2021年度)</td> <td>63校 (56校)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	46校 (2018年度)	63校 (2021年度)	63校 (56校)
	基準値	実績値	目標値 (単年度)						
	46校 (2018年度)	63校 (2021年度)	63校 (56校)						
	(2) 将来の地域産業を担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内5地区の専門高校において、「地域課題の解決」や「ものづくり」の視点から、産業界等の専門家から助言を受け実践的・体験的な活動を行う「地域産業の担い手育成総合戦略事業」を実施（高校教育課）</li> </ul>	<p>[KPI] 科学技術に関する全国規模の学会・コンテスト等での入賞した高校生の数（2022年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13人・団体 (2017年度)</td> <td>17人・団体 (2021年度)</td> <td>30人・団体 (27人・団体)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	13人・団体 (2017年度)	17人・団体 (2021年度)	30人・団体 (27人・団体)
	基準値	実績値	目標値 (単年度)						
13人・団体 (2017年度)	17人・団体 (2021年度)	30人・団体 (27人・団体)							
(3) ぎふの豊かな自然環境を背景とした木育や環境教育、食育等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぎふ木育」の推進に係る各種事業の実施（幼稚園等の施設に対する講師の派遣等の支援 他）（森林活用推進課）</li> <li>・小学6年生全員を「家庭の食育マイスター」として委嘱し、家庭においてリーフレットを活用した実践を行うことで家庭における食育を推進（体育健康課）</li> </ul>	<p>[KPI] 専門学科で学ぶ生徒を対象とした産業教育に関する全国規模のコンテスト・大会の最上位に入賞した高校生の数（2022年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20人・団体 (2017年度)</td> <td>11人・団体 (2021年度)</td> <td>30人・団体 (28人・団体)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	20人・団体 (2017年度)	11人・団体 (2021年度)	30人・団体 (28人・団体)	
基準値	実績値	目標値 (単年度)							
20人・団体 (2017年度)	11人・団体 (2021年度)	30人・団体 (28人・団体)							
(4) 情報活用能力の育成とICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高校において「ICT公開授業」を開催し、ICT環境を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実践研究を実施（高校教育課）</li> <li>・啓発リーフレット等を活用し、児童生徒に対して情報モラルに関する啓発を実施（学校安全課）</li> </ul>	<p>[KPI] CEFRのA2レベル相当（英検準2級等）以上の英語力を有する高校生の割合（2022年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39.1% (2017年度)</td> <td>42.5% (2021年度)</td> <td>50.0% (47.8%)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	39.1% (2017年度)	42.5% (2021年度)	50.0% (47.8%)	
基準値	実績値	目標値 (単年度)							
39.1% (2017年度)	42.5% (2021年度)	50.0% (47.8%)							
(5) グローバル社会で活躍できる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育推進事業により、小中学校において英語教育を校内研究主題等に設定し重点的に取り組む学校を「推進校」として継続的に支援（義務教育課）</li> <li>・世界的な視野をもち、考え、行動する次世代のリーダーを育成するための全国的な養成塾「日本の次世代リーダー養成塾」へ県内高校生を派遣（私学振興・青少年課）</li> </ul>								

基本方針	取組みの方向性	計画期間に実施した主な事業	成果（KPI※）						
2. 多様な学びを支援する教育体制の充実	(1) 特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校高等部の作業内容の見直しや働く力の到達度認定の仕組みづくりなどを推進（特別支援教育課）</li> <li>・特別支援教育における教職員の専門性の向上（「コア・ティーチャー」養成等）（特別支援教育課）</li> </ul>	<p>[KPI] 通級指導教室担当教員養成研修の受講教員数（2019～2023年度）</p> <table border="1" data-bbox="2095 491 2564 695"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>86人 (2019～2021 年度累計)</td> <td>175人 (105人)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	—	86人 (2019～2021 年度累計)	175人 (105人)
	基準値	実績値	目標値 (単年度)						
	—	86人 (2019～2021 年度累計)	175人 (105人)						
	(2) 外国人児童生徒の教育の充実と多文化共生意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活への適応指導や日本語指導を支援するため、「外国人児童生徒適応指導員」を、外国人児童生徒が比較的多い地区の教育事務所及び高校・特別支援学校に配置するとともに、必要に応じて各学校に派遣（高校教育課、義務教育課）</li> <li>・外国人児童生徒とのつながりから生まれる、異文化との出会いや互いの理解を深めることにつなげていくことの大切さを学ぶ研修を実施（教育研修課）</li> <li>・「外国人の子供日本語支援者育成研修」の実施（外国人活躍・共生社会推進課）</li> </ul>	<p>[KPI] 学習支援の担い手育成人数（2021年度）</p> <table border="1" data-bbox="2095 837 2564 1041"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15人 (2017～2018 年度)</td> <td>78人 (2021年度)</td> <td>27人 (27人)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	15人 (2017～2018 年度)	78人 (2021年度)	27人 (27人)
	基準値	実績値	目標値 (単年度)						
15人 (2017～2018 年度)	78人 (2021年度)	27人 (27人)							
(3) 不登校児童生徒等の教育機会の確保・再チャレンジ支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県教育支援センター「G-プレイス」を設置し、主に高校段階で不登校等の悩みをもつ生徒を対象に、将来の社会的自立に向けた学びの再チャレンジを支援（学校安全課）</li> <li>・不登校等の悩みをもつ児童生徒やその保護者に対する電話やSNS等を活用した教育相談窓口を開設（学校安全課）</li> </ul>	<p>[KPI] 特別支援学校高等部及び高等特別支援学校卒業生のうち就職を希望する生徒の就職率（2022年度）</p> <table border="1" data-bbox="2095 1199 2564 1392"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>96.2% (2017年度)</td> <td>93.8% (2021年度)</td> <td>100% (99.2%)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	96.2% (2017年度)	93.8% (2021年度)	100% (99.2%)	
基準値	実績値	目標値 (単年度)							
96.2% (2017年度)	93.8% (2021年度)	100% (99.2%)							
(4) いじめ等への対応の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で問題行動の発生が予測される場合や突発的な事件・事故が発生した場合、事案に応じて専門家を派遣する「スペシャリストサポート事業」を実施（学校安全課）</li> <li>・スクールカウンセラーやスクール相談員、スクールソーシャルワーカーを活用した教育相談体制を構築（学校安全課）</li> </ul>	<p>[KPI] 日本語指導が必要な外国人生徒のうち、就職または高等学校等へ進学した生徒の割合（2023年度）</p> <table border="1" data-bbox="2095 1556 2564 1738"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90.1% (2018年度)</td> <td>85.1% (2021年度)</td> <td>100% (96.0%)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	90.1% (2018年度)	85.1% (2021年度)	100% (96.0%)	
基準値	実績値	目標値 (単年度)							
90.1% (2018年度)	85.1% (2021年度)	100% (96.0%)							
(5) 人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人権課題に関する教職員研修の実施（義務教育課、高校教育課、教育研修課）</li> <li>・人権教育における行動力の育成を図る「ひびきあい活動」の実施（義務教育課、高校教育課）</li> </ul>								

基本方針	取組みの方向性	計画期間に実施した主な事業	成果（KPI※）																								
<p>3. 未来を切り拓くための基礎となる力をはぐくむ教育の推進</p>	<p>(1) 確かな学力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学力向上に資するICTツール「教科学習新システム（R4～R8運用）」を導入（義務教育課）</li> <li>・児童の学習改善や教師の授業改善を図る「NEW!GIFUウェブラーニング活用推進事業（R4）」を実施（義務教育課）</li> </ul>	<p>[KPI] 幼保小の連携における教育課程の編成・指導の工夫をした小学校の割合（2023年度）</p> <table border="1" data-bbox="2101 541 2564 726"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62.6% (2014年度)</td> <td>81.8% (2021年度)</td> <td>100% (85.0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[KPI] 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う児童生徒の割合（2023年度）</p> <p>(小学校)</p> <table border="1" data-bbox="2101 1045 2564 1230"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>79.1% (2018年度)</td> <td>79.0% (2021年度)</td> <td>100% (91.6%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中学校)</p> <table border="1" data-bbox="2101 1304 2564 1396"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>79.5% (2018年度)</td> <td>85.4% (2021年度)</td> <td>100% (91.8%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(高等学校)</p> <table border="1" data-bbox="2101 1465 2564 1558"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>69.6% (2018年度)</td> <td>77.5% (2021年度)</td> <td>100% (87.8%)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	62.6% (2014年度)	81.8% (2021年度)	100% (85.0%)	基準値	実績値	目標値 (単年度)	79.1% (2018年度)	79.0% (2021年度)	100% (91.6%)	基準値	実績値	目標値 (単年度)	79.5% (2018年度)	85.4% (2021年度)	100% (91.8%)	基準値	実績値	目標値 (単年度)	69.6% (2018年度)	77.5% (2021年度)	100% (87.8%)
	基準値	実績値		目標値 (単年度)																							
	62.6% (2014年度)	81.8% (2021年度)		100% (85.0%)																							
	基準値	実績値		目標値 (単年度)																							
	79.1% (2018年度)	79.0% (2021年度)		100% (91.6%)																							
	基準値	実績値		目標値 (単年度)																							
79.5% (2018年度)	85.4% (2021年度)	100% (91.8%)																									
基準値	実績値	目標値 (単年度)																									
69.6% (2018年度)	77.5% (2021年度)	100% (87.8%)																									
<p>(2) 幼児教育の充実と小学校教育との円滑な接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「岐阜県幼児教育アクションプラン【改訂版】」に基づいた幼稚園・保育所等と小学校の連携・接続を推進するための「岐阜県版接続期カリキュラム」の普及・啓発の実施（義務教育課）</li> </ul>																										
<p>(3) 主権者教育等の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員研修でのリーフレット活用、選挙管理委員会と連携した児童生徒への啓発の促進（義務教育課）</li> <li>・高校での公民科の授業等における副教材等を活用した主権者教育の実施（高校教育課）</li> </ul>																										
<p>(4) 私立学校教育の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育条件の向上、保護者の経済的負担の軽減、特色ある学校づくりの支援等のため私立学校教育振興費補助金による支援を実施（私学振興・青少年課）</li> <li>・公立高校との授業料等負担格差是正、保護者の経済的負担の軽減を図るため、私立高等学校等授業料軽減補助金の対象世帯を拡充するとともに、私立高等学校等入学金軽減補助制度を創設（私学振興・青少年課）</li> </ul>																										
<p>(5) 豊かな人間性を育む教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育の推進を図る「道徳教育計画訪問」事業の実施（義務教育課）</li> <li>・いじめ・不登校等未然防止事業における「あったかい言葉かけ県民運動」の取組みを推進（学校安全課）</li> </ul>																										
<p>(6) 高等教育の充実や大学との連携促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学や地元企業等との連携、ICTも活用した教科横断的な課題探究学習のカリキュラム開発等を行う「地域共創フラッグシップハイスクール事業」等を実施（高校教育課）</li> </ul>																										

基本方針	取組みの方向性	計画期間に実施した主な事業	成果（KPI※）												
<p>4. 学校・家庭・企業・地域の連携強化や多様な人材の活用</p>	<p>(1) 地域や企業等と学校の連携の強化</p>	<p>・「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」において、地域とともに活性化する学校づくりに向けて、地元企業や自治体等と連携し、地域資源を活用した探究的な学びを展開（教育総務課）</p>	<p>[KPI] 教育内容と人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせる指導計画を作成している」学校の割合（2023年度）</p> <p>(小学校)</p> <table border="1" data-bbox="2086 541 2555 726"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>98.6% (2019年度)</td> <td>96.1% (2021年度)</td> <td>100% (99.3%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(中学校)</p> <table border="1" data-bbox="2086 793 2555 890"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.7% (2019年度)</td> <td>90.3% (2021年度)</td> <td>100% (95.9%)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	98.6% (2019年度)	96.1% (2021年度)	100% (99.3%)	基準値	実績値	目標値 (単年度)	91.7% (2019年度)	90.3% (2021年度)	100% (95.9%)
	基準値	実績値	目標値 (単年度)												
	98.6% (2019年度)	96.1% (2021年度)	100% (99.3%)												
	基準値	実績値	目標値 (単年度)												
	91.7% (2019年度)	90.3% (2021年度)	100% (95.9%)												
<p>(2) 学校教育における多様な人材の活用</p>	<p>・「地域課題探究型学習推進事業」において大学研究者や企業経営者等との協働による実践研究や出前授業を通して、地域の魅力を知り、地域に密着した課題を発見・解決する探究的な学習を推進（教育総務課）</p>	<p>[KPI] 生活困窮世帯やひとり親家庭の子ども等を対象とした学習支援事業を実施する市町村数（2024年度）</p> <table border="1" data-bbox="2086 1075 2555 1276"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10市 (2017年度)</td> <td>18市町 (2021年度)</td> <td>30市町村 (21市町村)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	10市 (2017年度)	18市町 (2021年度)	30市町村 (21市町村)							
基準値	実績値	目標値 (単年度)													
10市 (2017年度)	18市町 (2021年度)	30市町村 (21市町村)													
<p>(3) 子どもの貧困対策等の推進</p>	<p>・生活困窮世帯やひとり親家庭等の子どもを対象に、学習塾形式を基本とする学習支援を実施する市町村に対し経費等を補助（子ども家庭課）</p> <p>・子ども相談センターと市町村が警察と合同で、児童虐待の早期発見や未然防止を図るために、立入調査、臨検・捜索の実践的訓練を実施（子ども家庭課）</p>	<p>[KPI] 見守り活動参加ボランティア団体数（2022年度）</p> <table border="1" data-bbox="2086 1440 2555 1640"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>877団体 (2017年度)</td> <td>798団体 (2021年度)</td> <td>900団体 (895団体)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	877団体 (2017年度)	798団体 (2021年度)	900団体 (895団体)							
基準値	実績値	目標値 (単年度)													
877団体 (2017年度)	798団体 (2021年度)	900団体 (895団体)													
<p>(4) 健全な青少年を育む社会環境づくり</p>	<p>・保護者、地域住民、行政及び警察が協力し、児童生徒が犯罪に遭わないための教育や、犯罪を起こさないようにするための教育を実施（学校安全課）</p>														
<p>(5) 家庭の教育力の向上</p>	<p>・家庭教育学級リーダー研修会の開催（環境生活政策課）</p> <p>・家庭教育の充実に係る啓発チラシを県内幼・保・子ども園及び小中学校の全保護者並びに妊娠期の保護者に配布（環境生活政策課）</p>														

基本方針	取組みの方向性	計画期間に実施した主な事業	成果（KPI※）						
5. 質の高い教育環境づくり	(1) 長時間勤務・多忙化の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職員の働き方改革プラン」に基づく各種取組の実施（教育管理課、高校教育課、義務教育課）</li> <li>・働きやすい職場づくりに向け、全ての県立高校及び特別支援学校において、職員間の意見交換等を実施（教育管理課）</li> </ul>	<p>[KPI] 授業中に児童生徒のICT活用を指導できる教職員の割合（2022年度）</p> <table border="1" data-bbox="2095 590 2558 772"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75.2% (2017年度)</td> <td>76.1% (2020年度)</td> <td>90.0% (84.1%)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	75.2% (2017年度)	76.1% (2020年度)	90.0% (84.1%)
	基準値	実績値		目標値 (単年度)					
	75.2% (2017年度)	76.1% (2020年度)		90.0% (84.1%)					
	(2) 教職員のハラスメントやメンタル不調対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメントや職場の悩みをワンストップで受け付ける専用相談窓口を設置（教育管理課）</li> <li>・全教職員を対象に、「働きやすい職場づくり」エントリーシートを用いたハラスメント調査を実施（教育管理課）</li> </ul>							
	(3) 優秀な教職員の確保・資質能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生向けの教職説明会のほか、教職の魅力を伝えるための若手教員との交流を含めた高校生を対象とした教職説明会を実施（義務教育課、高校教育課）</li> <li>・校種間の連携・接続を図るための人事交流や派遣研修等の充実（義務教育課、高校教育課）</li> </ul>							
	(4) 体罰・不祥事の根絶と学校マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「岐阜県教職員コンプライアンス・ハンドブック」を各学校へ通知し、不祥事防止のための月重点目標を反映させたセルフチェックシートを活用して、不祥事防止研修の実施を学校に依頼（義務教育課、高校教育課）</li> <li>・体罰やハラスメント等の防止徹底を図るため、研修会、講演会を実施（教育研修課）</li> </ul>							
(5) 安全・安心な学校づくりと危機管理体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域において、学校種や地域の特性に応じた学校安全推進体制の構築を図るために、組織的取組みと外部専門家の活用を進め、各自治体において各機関との連携を促進する取組みを支援（学校安全課）</li> <li>・防災専門家の協力のもと県立学校が作成した危機管理マニュアルの点検を実施（学校安全課）</li> </ul>								
(6) 学校施設の整備やICTの環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台端末として学習用タブレットを県立高校及び特別支援学校に整備（教育財務課）</li> <li>・県立高校と高等特別支援学校の全ての普通教室と一部の特別教室について黒板をホワイトボード化。また、電子黒板機能付きプロジェクター等を設置（教育財務課）</li> <li>・ICT教育推進担当教頭及び指導主事を各地区の拠点校に配置し、各学校を訪問して実情に応じた支援を実施 ※R4で終了（教育総務課）</li> </ul>								

基本方針	取組みの方向性	計画期間に実施した主な事業	成果（KPI※）						
6. 生涯学習、文化芸術の振興	(1) 生涯学習の推進や学び直しができる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク大学コンソーシアム岐阜（県及び県内大学で構成）における社会人を対象とした講座等の実施（清流の国づくり政策課）</li> <li>・「暮らしの安全出前講座」の実施（県民生活課）</li> </ul>	<p>[KPI] 障がい者芸術事業開催圏域数（2023年度）</p> <table border="1" data-bbox="2098 472 2549 663"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 圏域 (2020年度)</td> <td>5 圏域 (2021年度)</td> <td>5 圏域 (5 圏域)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	5 圏域 (2020年度)	5 圏域 (2021年度)	5 圏域 (5 圏域)
	基準値	実績値	目標値 (単年度)						
	5 圏域 (2020年度)	5 圏域 (2021年度)	5 圏域 (5 圏域)						
	(2) 障がいのあるなしに関わらず文化芸術に親しめる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「岐阜県障がい者芸術文化支援センター」において、県内各圏域での作品展示会、オープンアトリエ、講座等の開催、文化芸術活動を支援する人材の育成などを実施（障害福祉課）</li> </ul>	<p>[KPI] 県有文化施設（美術館・博物館・現代陶芸美術館）の利用者数（2023年度）</p> <table border="1" data-bbox="2098 846 2549 1037"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>186,476人 (2020年度)</td> <td>196,560人 (2021年度)</td> <td>410,000人 (260,984人)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	186,476人 (2020年度)	196,560人 (2021年度)	410,000人 (260,984人)
	基準値	実績値	目標値 (単年度)						
186,476人 (2020年度)	196,560人 (2021年度)	410,000人 (260,984人)							
(3) 文化芸術を活かした地域内外の交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「エンジン01in岐阜」の開催（文化創造課）</li> <li>・WebサイトやSNSを通じたアートの発信（岐阜県美術館）</li> <li>・様々なジャンルの専門家を招いた講演会、ワークショップの実施等の魅力発信事業（現代陶芸美術館）</li> </ul>	<p>[KPI] 「Art Award IN THE CUBE」観覧者数</p> <table border="1" data-bbox="2098 1182 2549 1373"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37,579人 (2017年)</td> <td>7,759人 (2020年)</td> <td>現状以上</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	37,579人 (2017年)	7,759人 (2020年)	現状以上	
基準値	実績値	目標値 (単年度)							
37,579人 (2017年)	7,759人 (2020年)	現状以上							
(4) 文化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動に励む県民に広く発表する機会を提供するための公募展「ぎふ美術展」を開催。またその一環として年間を通じ県内各地で様々なスタイルの体験プログラムを展開する「アトラボぎふ」を実施（文化創造課）</li> </ul>	<p>[KPI] 地歌舞伎、文楽・能伝承教室の参加者数</p> <table border="1" data-bbox="2098 1543 2549 1734"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ1,795人 (2017年度)</td> <td>延べ3,856人 (2021年度)</td> <td>現状以上</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	延べ1,795人 (2017年度)	延べ3,856人 (2021年度)	現状以上	
基準値	実績値	目標値 (単年度)							
延べ1,795人 (2017年度)	延べ3,856人 (2021年度)	現状以上							
(5) 文化財の保存・伝承の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「岐阜の地歌舞伎」の魅力を域内外に向けて積極的に情報発信するとともに定期公演を開催（文化創造課）</li> <li>・ユネスコ無形文化遺産である「本美濃紙」及び「高山祭」「古川祭」「大垣祭」の保存・伝承を図るため後継者の育成研修会等に要する経費の一部を支援（文化伝承課）</li> </ul>								

基本方針	取組みの方向性	計画期間に実施した主な事業	成果（KPI※）																		
7. スポーツの振興、健康・体力づくりの推進	(1) 地域スポーツ、レクリエーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」の開催（地域スポーツ課）</li> <li>・「ねんりんピック」の県内開催に向けた「ミナレク運動」の推進（ねんりんピック推進事務局）</li> <li>・「ぎふ清流レクリエーションフェスティバル」の開催（ねんりんピック推進事務局）</li> </ul>	<p>[KPI] レクリエーション指導者派遣回数（2023年度）</p> <table border="1" data-bbox="2101 562 2561 758"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200回 (2020年度)</td> <td>284回 (2021年度)</td> <td>365回 (255回)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[KPI] 地域で活動するスポーツ指導者の有資格者数（2023年度）</p> <table border="1" data-bbox="2101 1016 2561 1211"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>512人 (2018年度)</td> <td>773人 (2021年度)</td> <td>572人 (548人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[KPI] 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアでの合宿利用者数（2022年度）</p> <table border="1" data-bbox="2101 1428 2561 1644"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>目標値 (単年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ 28,988人 (2017年度)</td> <td>延べ 22,744人 (2021年度)</td> <td>延べ 30,000人 (29,798人)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	実績値	目標値 (単年度)	200回 (2020年度)	284回 (2021年度)	365回 (255回)	基準値	実績値	目標値 (単年度)	512人 (2018年度)	773人 (2021年度)	572人 (548人)	基準値	実績値	目標値 (単年度)	延べ 28,988人 (2017年度)	延べ 22,744人 (2021年度)	延べ 30,000人 (29,798人)
	基準値	実績値		目標値 (単年度)																	
	200回 (2020年度)	284回 (2021年度)		365回 (255回)																	
	基準値	実績値		目標値 (単年度)																	
	512人 (2018年度)	773人 (2021年度)		572人 (548人)																	
基準値	実績値	目標値 (単年度)																			
延べ 28,988人 (2017年度)	延べ 22,744人 (2021年度)	延べ 30,000人 (29,798人)																			
(2) 競技力向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ジュニアアスリート育成プロジェクト」の実施（競技スポーツ課）</li> <li>・県内指導者養成のため全国トップレベルの指導者を招聘し、ハイレベルな指導方法を直接習得できる機会を提供（競技スポーツ課）</li> </ul>																				
(3) 障がいのあるなしに関わらずスポーツに親しめる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校や障がい者施設などにおいて障がい者スポーツ教室を開催（障害福祉課）</li> <li>・障がい者スポーツ参加のきっかけづくりを支援する初級障がい者スポーツ指導員の養成及び同指導員の障がい者スポーツ教室への派遣（競技スポーツ課）</li> </ul>																				
(4) 健康・体力づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の運動遊びを推進するため、幼稚園・保育所等の教職員を対象に、遊びを通して運動を行う指導方法の研修会を開催（体育健康課）</li> <li>・運動やスポーツが好きな幼児を育成するため、県内14の幼稚園等をモデル園に選定し、「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）」を実践する事業を開始（地域スポーツ課）</li> <li>・スポーツや健康づくりに取り組むことで特典・サービスが受けられる「清流の国ぎふ健康・スポーツポイント事業」への参加を促進するため、アプリの運用を開始（地域スポーツ課、保健医療課）</li> </ul>																				
(5) スポーツを通じた地域振興の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリ・パラ大会でのホストタウン交流を契機とした多層的な国際交流（地域スポーツ課）</li> <li>・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの一層の認知度向上、地域活性化を図るための積極的なPR（地域スポーツ課）</li> </ul>																				

## 策定スケジュール

	第4期教育振興基本計画 (国)	第4次岐阜県教育ビジョン (県教育委員会)	第3期岐阜県教育大綱 (県)
R4 年度	R5.1 1/13~1/25 パブリックコメント 「次期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過について(報告)」		
	R5.2 2/7 中央教育審議会 教育振興基本計画部会 2/24 中央教育審議会 教育振興基本計画部会	2/7 第1回第4次教育ビジョン策定委員会 ※策定の進め方、現状と課題等	
	R5.3 3/8 中央教育審議会総会 (答申取りまとめ)		
R5 年度	R5.4		
	R5.5		
	R5.6 「第4期教育振興基本計画」 閣議決定(予定)	6/1 第2回 第4次教育ビジョン策定委員会 ※第3次ビジョンの主要施策評価等	6/16 第1回 総合教育会議 ・第3次岐阜県教育大綱の策定について ・第4次岐阜県教育ビジョンの策定について
	R5.7		7~8月 必要に応じて市町村等へのヒアリング
	R5.8	第3回 第4次教育ビジョン策定委員会	
	R5.9		第2回 総合教育会議 ※骨子案、素案
	R5.10	10/2 9月議会(教育警察委員会) ※骨子案	10/2 9月議会(企画経済委員会) ※骨子案
	R5.11	第4回 第4次教育ビジョン策定委員会 ※素案	
	R5.12	12/18 12月議会(教育警察委員会) ※素案 パブリックコメント	12/18 12月議会(企画経済委員会) ※素案 パブリックコメント
	R6.1	第5回 第4次教育ビジョン策定委員会	
	R6.2	2月定例教育委員会・最終案議決	第3回 総合教育会議 ※大綱案
	R6.3	3月議会議決 策定、公表	3月議会(常任委員会) ※最終案 策定、公表

## 国及び本県の動き

### 【文化芸術分野】

#### 国の動き

■文化芸術推進基本計画（第2期：R5年度～R9年度） 令和5年3月24日閣議決定

##### 7つの重点取組

- ①ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進
- ②文化資源の保存と活用の一層の促進
- ③文化芸術を通じた次代を担う子供たちの育成
- ④多様性を尊重した文化芸術の振興
- ⑤文化芸術のグローバル展開の加速
- ⑥文化芸術を通じた地方創生の推進
- ⑦デジタル技術を活用した文化芸術活動の推進

#### 本県の動き

■「清流の国ぎふ」文化祭2024（第39回国民文化祭／第24回全国障害者芸術・文化祭）

令和6年10月14日～11月24日（会期42日間）

##### 基本方針

#### ①「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信

文化芸術の灯（ともしび）で県民が一つになり、総参加で日頃の文化芸術活動の成果を発信する大会にします。

また、本県ならではの自然、歴史、伝統、技、産業、暮らし、文化、食など、これまで発掘し磨き上げてきた持続可能（サステイナブル）な地域資源の魅力や、世界に認められた「ぎふブランド」を、県民の誇りとして、国内外に発信する大会にします。

#### ②次世代を見据えた文化芸術の創造

コロナ禍で縮小せざるを得なかった文化芸術活動を未来に向けて再び始動し、地域の文化芸術を創造する大会にします。

また、デジタル技術を積極的に活用して、文化芸術とデジタル化の融合を図るなど、新たな文化芸術の価値を創造する大会にします。

#### ③文化芸術で人が輝く共生社会の実現

年齢、性差、障がいの有無などにかかわらず、誰もが多彩な文化芸術に親しみ、その魅力を共有し、一人ひとりが輝く「共生社会」の実現に向けた大会にします。

#### ④国民文化の大交流の実現

日本の中心に位置し、古くから我が国の東西文化の結節点である本県において、国内外から多数の人々が交流することによって、国内最大の文化の祭典に相応しい、多彩な国民文化の大交流を実現する大会にします。

## ■清流の国ぎふ総文2024（第48回全国高等学校総合文化祭）

令和6年7月31日～8月5日（会期6日間）

### 大会基本方針

3千メートル級の山々が連なる北アルプスや、木曾川、長良川、揖斐川が流れる濃尾平野は、自然あふれる“清流の国” 岐阜を象徴しています。また岐阜は古来より東西文化の交流の場としても発展してきました。この豊かな自然と文化の土壌をもつ岐阜に、全国や世界から高校生が集い、芸術文化の祭典を開催します。

好きなことに思い切り打ち込み、文化を通じて人とつながることに喜びを感じ、文化の魅力を次世代や世界に伝える大会を目指します。

### ○愛する

「部活が楽しい」、「部活が好きだ」という熱い気持ちを大切にし、とことん取り組み、自らの文化部活動への“愛”を深めます。

### ○つなげる

最高のパフォーマンスを求めて高め合い、お互いの文化や考え方を尊重して寄り添うことで、全国や世界の仲間とつながります。

### ○伝える

総文祭岐阜大会でしか得られない学びや発見を次世代に、岐阜の自然、歴史、文化の魅力を全国や世界に、伝えます。

## 【スポーツ分野】

### 国の動き

#### ■第3期スポーツ基本計画（R4年度～R8年度） 令和4年3月25日策定

東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策に加え、スポーツの価値を高めるための新たな「3つの視点」を支える施策を盛り込む。

#### 重点施策

- ①持続可能な国際競技力の向上
- ②共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進
- ③スポーツを通じた国際交流・協力
- ④大規模大会の運営ノウハウの継承
- ⑤地方創生・まちづくり
- ⑥スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保

#### 3つの視点

##### ①スポーツを「つくる／はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す

##### ②スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う

##### ③スポーツに「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違い等によって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成

### 本県の動き

#### ■第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画（R4年度～R8年度）

東京オリ・パラ大会の成果を継承・発展させながら、これまでの取組みをさらに深化しつつ、スポーツを通じ県民の心身の健康の保持増進をより一層推進することが必要と考え、「すべての県民がスポーツの持つ力の恩恵（健康と生きがい）を得られる岐阜県」を目指す。

#### 基本目標

##### 誰一人取り残されないスポーツ立県・ぎふ

子どもから高齢者まであらゆる世代の県民が、それぞれの関心、適性等に応じて、多様なスタイルでスポーツを楽しみ、スポーツの持つ力で生涯にわたり健康と生きがいを得られる「清流の国ぎふ」の実現。

#### 5つの柱

- ①生涯にわたる健康と生きがいづくりのスポーツ推進
- ②世界や全国を目指すアスリートの競技力向上
- ③障がい者の活躍を広げるパラスポーツの推進
- ④地域資源を活かしたスポーツによるまちづくり
- ⑤誰もが楽しめるスポーツ環境の整備

## 【生涯学習分野】

### 国の動き

#### ■文部科学省「第11期中央教育審議会生涯学習分科会」における整理（R4.8）

##### 生涯学習・社会教育が果たしうる役割

##### ①ウェルビーイングの実現

生涯学習を通じた個人の成長と、持続的な地域コミュニティを支える社会教育は、ウェルビーイングの実現に密接不可分

##### ②社会的包摂の実現

誰一人として取り残すことなく、学習機会を提供する

##### ③デジタル社会に対応

国民全体のデジタルリテラシーの向上を目指す

##### ④地域コミュニティの基盤

「学び」を通じた、人と人のつながり・絆の深まりが、地域コミュニティの基盤を安定させる

##### 今後の振興方策

##### ①社会教育施設（公民館等）の機能強化

##### ②社会教育人材の養成と活躍機会の拡充

##### ③地域と学校の連携・協働の推進

##### ④リカレント教育の推進

##### ⑤多様な障がいに対応した生涯学習の推進

### 本県の動き

#### ■岐阜県生涯学習振興指針（R5年度～R9年度）

##### 基本理念

「地域づくり型生涯学習」の学びの輪がつなぐ「清流の国ぎふ」の豊かな未来

##### 基本方針

##### ①多様な学びの一步づくり

生涯にわたり、あらゆる世代・主体が学ぶための機会・情報の提供

##### ②「清流の国ぎふ」を支えるつながりづくり

「清流の国ぎふ」の魅力を知る学びによる地域コミュニティを支えるつながりづくり

##### ③持続可能な社会を支える地域づくり

地域実態に応じ、連携・協働した地域課題の解決による地域の形成

## 総合教育会議等におけるこれまでの主な意見

総合教育会議（令和元年度～令和4年度）及び第1回第4次岐阜県教育ビジョン策定委員会、令和4年度「清流の国ぎふ」創生総合戦略推進会議及び令和3年度「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議での主な意見

### 1. ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

- ふるさと教育を通じて自分たちの存在の位置づけやアイデンティティが醸成されることが世界で通用するグローバルな人材を育成することに繋がる。（令和3年7月）
- リアルな場での人との交流や自然体験など、デジタルとリアルのバランスを取った教育が必要。（令和4年7月）
- ふるさと教育に係る指導者の養成を県独自でどこまでやるのか議論を深めるべき。（令和5年2月）

### 2. 多様な学びを支援する教育体制の充実

- 教科横断的な視点やグローバルな視点で物事を見たり体験することは今後の進路選択の上でも有益である。（令和3年7月）
- 目まぐるしく変わる社会の中で生き抜く逞しさや主体性、探求心、問題解決能力を育てていくような取組みが重要。（令和5年2月）

### 3. 未来を切り拓くための基礎となる力をはぐくむ教育の推進

- 不寛容になっている世の中こそ共感力、エンパシーが求められる。子ども達のコミュニケーション能力を高めることができるような取組みがあるとよい。（令和4年7月）
- ESD（持続可能な開発のための教育）を実施することがSDGs実現に繋がる。（令和4年7月）

#### 4. 学校・家庭・企業・地域の連携強化や多様な人材の活用

- 地元企業などと連携し自分たちが持っているプライドや思いを子どもたちに伝えるような取組みは、仕事に対する思いを新たにすることができ、子どもたちも将来の夢について考えを膨らませることができるので大変有効であるし、地域の活性化にもつながる。(令和2年2月)
- 子どもたちが、自分の周囲の人々だけでなく普段出会うことのない人と会い様々な経験をするような取組みを積極的に実施すると良い。(令和2年2月)
- 子どもたちにとってより良い居場所づくりやつながりづくりが大切。(令和5年2月)

#### 5. 質の高い教育環境づくり

- 岐阜県はICTに関しては先進的。ICTを活用し中身のある質の高い教育環境を構築することは教員の働き方改革にもつながる。(令和2年2月)
- ICTなど教育の在り方が大きな転換点を迎える中、教員の学び直しやマインドセットが出来るような環境整備が必要。(令和3年7月)

#### 6. 生涯学習、文化芸術の振興

- 木育などの自然とのふれあいや、文化・芸術を取り入れながらクリエイティブなスキルを伸ばしていくことが必要。(令和3年4月)
- リカレント教育について、大学がコーディネートし老若男女が集まって地域の課題を共有し、解決策を共に考えることが出来ると良い。(令和3年7月)
- 地域に根ざした文化を子どもたちに伝えることができる指導者の育成も必要。(令和5年2月)

#### 7. スポーツ振興、健康・体力づくりの推進

- 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、健康増進等、Well-beingな暮らしに繋がるといったことが重要。(令和4年8月)
- 部活動の地域移行によって今まで学校内で行われていた部活動を新しい形で子どもたちに提供できるようにする仕組みが必要。(令和5年2月)

# 第 4 次岐阜県教育ビジョンの策定に向けた整理（案）

## 第 1 回策定委員会での委員からの意見（要約）

- 学力をとっていても地域ごとの差を感じる。原因分析が大切ではないか。また、部活動の地域移行も、今後、高校にも波及してくると思うが、学校の特色にも直結する課題である。(学校関係者)
- これからの社会では、たくましさとか、主体性とか、探究していく力、課題を見出して解決するような力が大事ではないか。自ら学びたい気持ちになる学校であるべき。(学校関係者)
- プロからの学びやリアルの実感が、子どもたちの目を開かせることにつながる。何のための勉強か分かる経験が大切。地域や企業、家庭等と柔軟な学校を目指すことが重要。(学校関係者)
- コロナを経験して改めて、対面授業、地域とのつながり、学校行事が非常に大切だと感じる。生徒も多様化しており、学校に行かなくてもよいという風潮もあるが、いずれ社会に出ていく。生徒を社会といかにつなぐか、学校で何ができるか模索しなければいけない。(学校関係者)
- 自分の居場所があり、他者とのつながりを持ち、相手を思いやりながら自分で答えを出す力、苦難を乗り越える力が求められる。(企業経営者)
- 生徒間、生徒教員間でコミュニケーションをとる取組みにより、問題行動が減少。学校に居場所ができた、他者とのつながりができたことが大きい。(文化芸術関係者)
- オンライン、ネットを居場所として考える子どもが増えているが、リアルとネットの世界をつなぐようなサポートができれば、子どもたちの自己肯定感を高める効果が見込まれる。(学識経験者)
- 人としてやってはいけないことを指導できているか。各学校で選ばれたメンバーが集う「ぎふ立志リーダー塾」のような取組みは、次代のリーダーを育成するために必要。(企業経営者)
- 教育ビジョンを考える上で、地域全体で子どもたちを育て、どう携わっていくのか意識する必要がある。また、少子化が進むことは確実であるが、前向きに捉え、個別最適で、それぞれが選択できる学び、多様な一人一人に目を向けていく教育をしないといけない。(企業経営者)
- 部活動の地域移行が進むが、頑張りたいと思った時に受け入れる環境があるか不安。子どもたちが挑戦したと思う機会を作りながら、自発性を育てていきたい。(スポーツ関係・保護者)
- 家庭もしくは学校での教育、しつけというものを改めて見直す時代にあるのではないか。(保護者)
- 予測困難な時代の中、子どもたちが身に付ける力、ウェルビーイングをどのように実現していくのか。それぞれのつながりのなかで、新しい姿勢を見出していく必要がある。(学識経験者)

## 今後の教育の方向性や観点

- 「確かな学力」を育むこと
  - ・生涯にわたって学び続けるための力を育むこと
  - ・社会の変化に伴う新たな課題に対して探究し、解決する基礎となる力を育むこと
- 自他を尊重し、認め合い、支え合って生きる力を育むこと
  - ・多様性のある社会で、自分の大切さとともに、他の人の大切さを互いに認め合うこと
  - ・困難な状況でも、互いに助け合い、支え合って解決できること
  - ・物事に対して柔軟に考え、粘り強く取り組む心を育むこと
- 健やかな体をつくること
  - ・いきいきとした生活を送る基盤となる体をつくること
- 多様なニーズにこたえる教育を推進すること
  - ・一人一人の能力や可能性を最大限伸ばす教育を推進すること
- 教職員の専門性と資質の向上を図ること
  - ・子どもの学びを支えるために求められる資質・能力を高めること
- 家庭・地域と学校が連携して子どもたちの学びを支えること
  - ・学校・家庭・地域が連携し、工夫し合い、子どもたちの「学びの場」を拡充させ、魅力化すること
- 活力ある県立学校づくりを進めること
  - ・教育水準の確保、教育機会の保障のために必要となる県立学校づくりについて、引き続き検討すること

## 第2回 第4次岐阜県教育ビジョン策定委員会（R5.6.1）における 各委員の主な意見

### 〔人とつながる力・多様性の尊重〕

- 「人とつながる力」は、将来にわたって大切。不登校に係る課題でも、いじめの問題でも、「人とつながる力」が鍵になる。（学校関係者）
- 多様な価値観を持った人たちが集まった時、自分の考えをしっかりとと言える人間関係の形成が大事。（文化芸術関係者）

### 〔学校の在り方・学びの在り方〕

- 多様な学びをする上でICTの活用が大切だが、やはり実体験を通した学びが欠かせない。（学校関係者）
- 多様化する子どもたち一人ひとりを大切にしながら、子どもたちの可能性を伸ばしていく。それが学校の本質である。（学校関係者）
- 子どもたちの数が減少していく中で、一斉指導から個別の指導への転換が必要だが、「集団性」や「他者との関わり」の確保もまた必要である。（学校関係者）

### 〔学校と家庭・地域・企業との関係など〕

- 学校でしかできない学びを徹底的に学び尽くしたり、何かに熱中したりして、知力・体力等を養ってほしい。学校卒業後の教育は、経済産業界がしっかりと役割を果たしていく。（企業経営者）
- 多様な学びを実現するためには、学校と地域等とがつながりを持ちながら、学びの場を広げていく必要がある。（学識経験者）

### 〔コロナ禍での経験をどう生かすのか〕

- コロナ禍だからこそ学んだこと、特別な経験・体験をしたことがある。「苦しい時代を乗り越えた子どもたち」と言われるよう、現況を丁寧に検証しながら次期教育ビジョンの内容につなげていけるとよい。（企業経営者）

## 令和 4 年度 第 2 回総合教育会議（R5. 2. 16）における各委員の主な意見

## 〔ふるさと教育の推進〕

- ふるさと教育を推進する上で、学校と地域等がうまくつながりながら進めることが大切。また、生徒も教職員も、ふるさと岐阜における実体験を大切にしていきたいところ。
- 「自分たちの存在の原点は何か」、ふるさと教育を通してアイデンティティを育むことができると、世界に出ても通用する。

## 〔ICTの整備と利活用〕

- ICT環境はますます進展していく。その中でも、岐阜県はICT機器の整備については最先端を行っていると思う。一方で、ICTを用いて指導できる教職員のスキルに格差もみられる。